

# 樟蔭国文学

## 第 29 号

花散里卷私論……………西 木 忠 一 (1)

『源氏物語』における「ゆかし」の考察(因)……………北 村 英 子 (11)

足利高氏の役割……………谷 垣 伊太雄 (27)  
——『太平記』巻九の構成と展開——

八代集和歌語彙の性格……………西 端 幸 雄 (1)  
——その意味的性格と語彙史的位置づけを探る——

学 報…………… (39)

大阪樟蔭女子大学国語国文学会